

**FRONTEO、三菱UFJ銀行に不正リスクを予見する
AIソリューション「KIBIT Eye」を提供開始****お客様本位の経営を追求する三菱UFJ銀行のコンプライアンス強化を支援**

株式会社FRONTEO（本社：東京都港区、代表取締役社長：守本 正宏、以下 FRONTEO）は、株式会社三菱UFJ銀行（以下 三菱UFJ銀行）がさらなるコンプライアンス体制の強化とお客様本位の経営を実現するため、FRONTEOが自社開発した「不正リスクを予見するAIソリューション KIBIT Eye（キビットアイ）」を導入したことをお知らせいたします。



昨今、金融業界をとりまく環境は急速に変化しており、金融機関には一層の透明性の確保や適正な業務運営が求められています。特に、顧客保護の徹底や内部不正の防止、カルテル対策の強化、さらにはデジタル化の進展に伴うサイバーセキュリティ対策などが、社会的および業界的な課題として重要視されています。

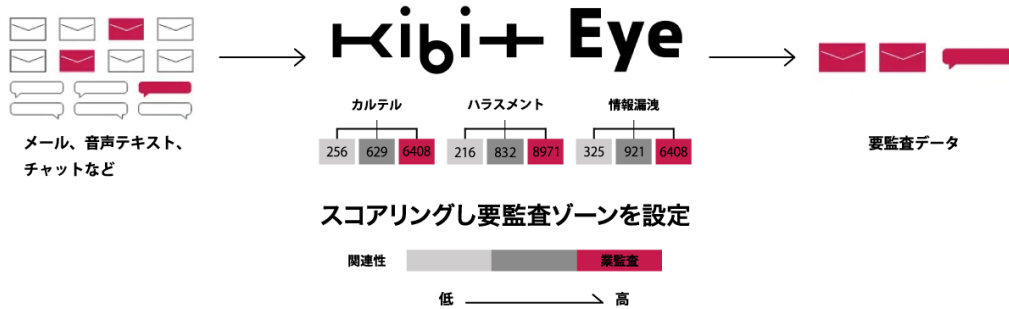
三菱UFJ銀行は、長年にわたり築いてきた信頼をより確かなものとし、お客様本位の経営を徹底するため、短期的な利益にとらわれることなく、持続的な発展を支える体制の強化に取り組んでいます。その一環として、高度なコンプライアンス基準への適合を推進しており、透明性の向上とさらなる安心の提供を目指して、このたび「KIBIT Eye」を導入しました。

FRONTEOは「KIBIT Eye」を通じて、三菱UFJ銀行のコンプライアンス強化を支援いたします。

【KIBIT Eyeについて】 <https://kibit.fronteo.com/products/kibit-eye/>

さまざまなコミュニケーションツールに対応

Email 通話音声テキストデータ Microsoft Teams Slack LINE WORKS Bloomberg



KIBIT Eyeは、自社開発の特化型AI「KIBIT（キビット）」（日米特許取得済み）を搭載し、企業におけるリスクの早期発見や不正の予見を支援するAIソリューションです。

AIが膨大なテキストデータの解析を担うことで、判断基準の属人的なバイアスを排除し、画一的かつ網羅性のあるチェックを可能にします。また、データのスコアリングによってリスクを含む可能性の高いデータを抽出し、効率的なリスク管理と業務の高度化に寄与します。

FRONTEOは、今後も独自の自然言語処理技術（日米特許取得済み）を強みとする革新的なAIソリューションの開発・提供を通じて、金融機関や製造業、ライフサイエンス業界を中心に、企業のビジネスの発展に貢献してまいります。

■FRONTEO について URL: <https://www.fronteo.com/>

FRONTEOは、自社開発の特化型AI「KIBIT（キビット）」の提供を通じて、日夜、社会課題と向き合う各分野の専門家の判断を支援し、イノベーションの起点を創造しています。当社独自の自然言語処理技術（日米特許取得）は、汎用型AIとは異なり、教師データの量およびコンピューティングパワーに依存することなく、高速かつ高精度での解析を可能にします。

加えて、解析した情報をマップ化（構造を可視化）する特許技術を活用することで、「KIBIT」が専門家のインサイトにダイレクトに働きかけることができ、近年、KIBITの技術が創薬の仮説生成や標的探索にも生かされています。

KIBITの独自技術およびアプローチを通じて、「記録





に埋もれたリスクとチャンスを見逃さないソリューションを提供し、情報社会のフェアネスを実現する」理念の実現に向けて、[ライフサイエンスAI](#)、[ビジネスインテリジェンス](#)、[経済安全保障](#)、[リーガルテックAI](#)の各分野で社会実装を推進しています。

2003年8月創業、2007年6月26日東証マザーズ（現：東証グロース）上場。日本、米国、韓国、台湾で事業を展開。第一種医療機器製造販売業許可取得、管理医療機器販売業届出。資本金898,618千円（2024年8月31日時点）。

※FRONTEO、KIBIT、KIBIT EyeはFRONTEOの日本および米国における商標または登録商標です。

<報道関係者のお問い合わせ先>

株式会社 FRONTEO 広報担当

Email : pr_contact@fronteo.com 電話 : 080-4321-6692

<ビジネスインテリジェンス事業に関するお問い合わせ先>